

# 和光の緑と湧き水だより

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報59

<http://verdaw.hp.infoseek.co.jp/> 会報 VERDA (エスペラント語で「緑の」)

身近な自然を知り、親しみ、守ろう

**連絡1** 単行本「和光の緑と湧き水」いよいよ出版です。編集委員会では編集、校正、デザインにも取り掛かり、会員にもお知らせしながら進めてきました。

2月初旬発行 前回の「和光の身近な自然探訪」増補版 の第2弾

会の活動スケジュール表 (予定)の所は問い合わせて参加ください。(462-9912 高橋)

	編集委員会・全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂 ふれあいの森等	和光樹林公園
2月	単行本「和光の緑と湧き水」出版 2月10日(予定) 出版お披露目会(理事会) 2月21日午後2時	21日 竹切り 貴重種の保全 柵作り	2日(月・予定) 植生調査 イヌシデ、モミジ 移植	17日(予定) 樹木名調査 コナラの森観察 野鳥観察
3月	3月24日 ヒロハアマネ観察 4月5日(日)カタクリ・ニリンソウを訪ねる観察会	3月10日 新倉報告書 17日(予定)保全	13日(金・予定) 湧水路手入れ	コナラの森観察

和光の緑と湧き水 序 冊子編集委員会

「和光市周辺の身近な自然に親しんでいただく読み物」、そんな願いでスタートした地域の新聞・和光市民新報の連載「和光の緑と湧き水」が、2002年11月から皆さんのご支援を得て2008年4月号まで60回を数えることができました。

都市化の進む和光市の発展とともに、人の子供たちが触れることの緑地や田畑がかなり少しています。利便性に潤いのある環境をやすいまちの構成に欠金では買えない身近な直したい、そんな価値から執筆してきたのがと思います。

60回を機に、その内容とめたものがこの冊子物の描写として、新聞をカラーにし、また、範囲で関連する身近なラムを挿入しました。んでいただく本」、そし聞の原文のままとしま真も含め、執筆時の状残したいと考えたため後にも、ここに載せたわれた過去のものとなと切望するものです。

## セブン-イレブンみどりの基金決定 単行本「和光の緑と湧き水」出版



は、都市として潤いを与え、子できる身の回りのスピードで減の向上と共にい保つかが、住みかせません。お自然の価値を見観を色々な観点この連載だった

を充実させてまです。自然の風記事の白黒写真スペースの許す自然の写真やコまず、「見て楽しんで文章はほぼ新した。これは写況を記録としてです。何年かの身近な自然が失ってほしくない(冊子序中略)